

『あなたは祝福となる』 創世記 12章1～7節 2019.3.10 聖日礼拝説教より

『イエスは、彼に言われた。「きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なので、人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」』
ルカの福音書 19章 9-10 節

①のろいから祝福へ…創世記12章(アブラハムの召命)から、聖書の流れは祝福に向けて一気に変わる！アダム～カインの呪いと追放、大洪水による審き、諸民族の離散(バベル)という悲惨な歴史から祝福へ。その段階は2つ。「わたしはあなたを祝福する」。「あなたにより全ての人々が祝福される」。祝福が実を結ぶのに2つの条件。「出ること／行くこと」(12:1)。①出なさい:まず慣れ親しんだ安住の地からの決別！第二に、偶像からの決別！父親はウルの出身で、そこは月神を拝む町。神はあなたに悪習慣から離れるように迫られる(イザヤ 52:11)。御言葉を通して主に聞くことがなければ、いつまでも正しい道には進めない！第三にある人は強制的に新しい人生へ！星野富弘さんは一瞬にして四肢麻痺に。②行きなさい:出たのは行くため！アブラムはカナンに着き、先住民のために入れず、ルズへ。主の命令には想定外の事態もあるが、確かなのは、御言葉に導かれて必ず助けがあること。神はアブラムに告げる。「あなたは祝福となる(6:2)」。原文は命令形(祝福となれ)！あなたが祝福されれば、あなたの隣人が祝福される！神の命令は確定事項で、その方法も力も与えられる！だから「なれ」ではなく「なる」！星野富弘さんは、絶望の中でマタイ 11:28 を通してキリストと出会い、現実の厳しさに潰されそうな多くの方々に、祝福と希望を与える人になる！

②弱さを憐れみ、待ち望む信仰へ…アブラハムは信仰の父と言われたが、その実態は『疑いながら神を求める』ものだった！アブラハムが99歳、サラが90歳になった時、神は再び約束を告げるも、アブラハムもサラも疑った(17:17／18:12)。しかし神は、「主に不可能なことがあるうか(18:14)」と諭して信仰を励まし、約束から25年目！その実現を見た！信仰とは、神の約束(御言葉)を信じて待ち望むこと。神の祝福は神の時に於いて実現する！

★創世記 12:1-3 が語られ、玖珂から周東に移って12年。会堂が人で溢れて建て替えかと思うまでになると誰が予想したか。主は言われる「わたしは、まず、あなたを祝福する。そうすれば、あなたを通して隣人が祝福される」と。「きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なので、人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」(ルカ 19:9)。約四千年の時を越えて、アブラハムの祝福が、今、キリストにつながるあなたの行く先々で実現する！